

令和 8 年 7 月 2 4 日

東部農林水産振興センター雲南事務所農業部

標 題	お茶を五感で感じて関心をたかめる（農業士食育活動）
-----	---------------------------

（ダイジェスト）

雲南市の藤原馨指導農業士による「お茶づくり体験学習会」を開催しました。大東小学校の児童を対象とした出前学習では、雲南市大東町のお茶の歴史やお茶の淹れ方の学習をしました。工場では、お茶の製造工程の見学、火入れ体験と試飲を行いました。藤原指導農業士からは、「お茶を五感で感じてほしい。」という話がありました。

雲南農業士会は、地域の小中学校と連携した体験学習への協力や食育推進活動を通じた農業への理解や関心を高め将来の就農者育成につなげる取り組みをすすめています。

6月12日に開催した「お茶づくり体験学習会」では、雲南市立大東小学校の3年生24名が大東町のお茶についての歴史やお茶の淹れ方などを藤原指導農業士から学びました。

6月22日には、雲南市大東町にある藤原指導農業士のお茶製造工場で茶畑から摘まれてきた生の茶葉が、蒸機→冷却機→葉打ち機→荒揉機→揉捻機→中捻機→乾燥機→仕上機→唐箕機→色彩選別機→火入機→合組機→袋詰めと、13の工程で出来ることを実際の機械や工程を見て学習しました。

また、荒茶に熱を加えて水分を飛ばして香ばしい香りを引き出す火入れの工程では、炭火で火を起し、火の上にひいた和紙の上で、お茶を揉む作業を体験し、部屋全体に広がるお茶の香りも感じる事ができました。実際に荒茶と火入れ後のお茶を飲み比べる試飲も行われ、児童たちは、五感を通して地元の農業への関心を高めました。

質問コーナーでは、機械の値段、お茶づくりへの思い、子供に勧めるお茶やお茶づくりの難しいところなどについての質問がありました。

最後に、藤原指導農業士からは「お茶を作るときに機械を使うようになったが、生産工程は昔と同じ工程で製造しています。お茶を五感で感じてほしい。大東のお茶のことを忘れないでほしい。」という話がありました。

秋には、雲南市立佐世小学校の児童にも同様の学習会を予定しています。



火入れ体験



質問コーナー